

ニコニコ箱・米山奨学金・ロータリー財団報告

【ニコニコ箱】

皆出席御祝 / 本日は早退します。スママセン。(木瀬雅博)
 皆出席御祝 / 22年もの間、私をロータリーにつないでくれたのも皆様のお陰です。(山内鴻之祐)
 在籍御祝 / 浜崎さん、卓話ありがとうございました。(畑下徳洋)
 【誕生日御祝】 玉木 洋・林 正岳・細江 究・村井 勝
 誕生日御祝 / おかげ様で 53歳になりました。皆様と家族に感謝です。(北 晋介)
 誕生日御祝 / 今日も元気。家族及び皆様に感謝、感謝!(横山強志)
 【配偶者誕生日御祝】 英 貴子
 【結婚記念日御祝】 畑下徳洋・森川圭造
 結婚記念日御祝 / 出合ってから 34年間ほぼ毎日「おはよう」か「おやすみ」。ありがたいことです。(伊井彌州雄)
 浜崎様、ありがとうございました。(小林満只)
 浜崎様、卓話ありがとうございました。(佐々木輝明)
 浜崎様、卓話ありがとうございました。(登谷大修)
 浜崎さん、本日は卓話ありがとうございました。しっかり支援させて頂きます。(平野洋一)
 浜崎さん、卓話ありがとうございました。皆様、子供の貧困支援のご協力よろしくお願いします。(前川小百合)
 浜崎様、卓話ありがとうございました。皆様、Xmas ケーキのご注文ありがとうございました。(村中洋祐)
 浜崎様の卓話に感謝申し上げます。(山本 宝)
 一陽の浜崎様、本日は誠にありがとうございました。(渡邊義信)
 英さんからニコニコお声かけいただきました。(浅井正勝)
 昨日、家内と一緒に琵琶湖の湖北にあるメタセコイアに行ってきたです。赤く紅葉した 2.5Km 続くドームの並木道は素晴らしかったです。(油谷啓司)
 出した分がえってきました。半分だけ。(伊藤仁一郎)

第1班の炉辺会談を19名もの参加を得て大いに談笑しました。世話役の土屋さんと沢山の焼肉を提供して頂いた中広さんに感謝します。(片岡正明)
 久しぶりの晴れ間、12月に入りせわしないですが、安全運転しましょう。(角谷恒彦)
 あまりにも嬉しいので自慢します。中2の長男が試験で学年トップを取りました。昨日は夫婦で祝杯をあげました。(後藤正邦)
 過日行われました越前ガニロボットコンテストが成功裡に終わりました。ありがとうございました。(小森富夫)
 何となく!(須賀原和広)
 久しぶりの出席になりました。(鍋屋昌明)
 各 君

【米山奨学特別寄付金】

荒本秀一・平野洋一・山本啓史・渡辺崇嗣
 各 君

【ロータリー財団増進特別寄付金】

天谷智宏・市橋信孝・伊藤仁一郎・平野洋一
 みやま木ごころ一座の最終公演が今日の日曜日に開催されます。清水さんが力を注いでこられた最後の公演です。是非皆様足を運んで下さい。(城戸利枝)
 城戸さん、チョットいい話ありがとうございました。(武本一美)
 各 君

【寄付金の状況】

	12月7日分	累計	目標
ニコニコ箱	74,000円	1,548,163円	3,200,000円
米山奨学金	8,000円	1,097,000円	2,270,000円
R-リ-財団	12,000円	1,649,380円	2,987,000円

ありがとうございました。

幹事報告

幹事 村中 洋祐



①本日例会終了後、13:45から、加藤ビル3Fで理事会を開催します。メンバーの方は宜しくお願い致します。
 ②次週12/14(木)の例会にて、年次総会を執り行います。先日、平野会長を委員長とした指名委員会を開催し、2017-2018年度福井ロータリークラブ理事候補者を決定致しました。本日の理事会で報告し、この年次総会で、会員皆様にご報告・承認を得たいと思います。ご出席の程宜しくお願い致します。
 ③福井市と福井銀行が主催します「女性が輝く職場をつくる研究会『福女Lab』」が2018年1月26日に福井県自治会館にて開催されます。この『福女Lab』では、第1部は女性活躍の推進により業績を大幅に向上させた企業の経営者による講演会、第2部は女性活躍推進のコンサルタントを交えた参加者による意見交換会です。参加ご希望の方は事務局までご連絡下さい。



ビジター受付

- 12月15日(金) 鯖江 鯖江商工会館3階
- 12月18日(月) 福井東 アオッサ1F入口付近
- 12月19日(火) 福井南 織協ビル正面玄関
- 12月19日(火) 福井フェニックス ザ・グランユアーズフクイ 18:00-18:30
- 12月20日(水) 福井北 ザ・グランユアーズフクイ 1階正面玄関
- 12月21日(木) 福井水仙 福井パレスホテル1F 18:00-18:30
- 12月22日(金) 福井あじさい ホテルリバージュアケボノ
- 12月22日(金) 福井西 バードグリーンホテル 正面玄関入口
- 12月26日(火) 武生 武生商工会館1階



現在会員数
138名

事務所 〒910-0006 福井県福井市中央1丁目3番1号 加藤ビル5階 TEL:0776-25-0633 FAX:0776-24-8622
 例会場 ユアーズホテルフクイ4F TEL:0776-25-3200 例会 毎週木曜日12:30~13:30
 クラブ会報委員会 委員長:谷崎由美子 副委員長:伊藤 彰
 委員:中広 久・佐々木輝明・土屋道照・千頭和孝則・中島康志・角谷恒彦
 ソングリーダー:チーフ:野尻章博 山本啓史・村井 勝・木村憲一・木瀬雅博・吉村千春・渡辺崇嗣
 ホームページ http://www.fukui-rotary.com/ E-mail info@fukui-rotary.com
 創立 1950年(昭和25年)10月15日 RI承認 1950年(昭和25年)12月4日(承認NO.7647)



ROTARY CLUB of FUKUI

R.I. District 2650 2017-2018 Weekly Bulletin 2017年12月14日 第2357号(創刊2513号) 福井ロータリークラブ



R.I.会長 アイアンライズリー
 R.I.第2650地区ガバナー 田中 誠二

福井ロータリークラブ会報

2017-2018年度 R.I.テーマ:変化をもたらす 地区スローガン:愛着と誇り

理事	監事	役員補佐
会長 平野 洋一	監事 藤井 健夫	副幹事 森川 圭造
副会長・会長エレクト 渡邊 義信	監事 片岡 正明	副会計 朝倉 真博
直前会長 佐々木知也		副会場監督 油谷 啓司
幹事 村中 洋祐		副会場監督 市橋 信孝
会計 浅井 正勝		
会場監督 上田 祐広		

本日の例会

2017年12月14日 第3308回

- 12時30分 開会点鐘
- 会長挨拶
- 年次総会/
(2018-2019年度 福井RC理事/役員候補者の報告)
- 委員会報告・幹事報告・その他
- あしながプロジェクト半期活動状況報告と事業主旨の説明
- 13時30分 閉会点鐘



- 今後の予定
- 12月21日(木) クリスマス家族会(夜間例会)
 - 12月28日(木) 休会
 - 1月4日(木) 休会
 - 1月11日(木) 栄誉行事/クラブフォーラム
 - 1月18日(木) 新年会 (夜間例会 芦原温泉べにや)

12月は「疾病予防と治療月間」です。一疾病を予防し、健康への認識を高めるために様々な取り組みを

〈次回の例会〉2017年12月21日(木) ■会場:ユアーズホテルフクイ ■登録受付:17時30分

■クリスマス家族会(夜間例会) ■開会点鐘:18時00分

例会報告 2017年 12月 7日 第3307回 例会

出席報告

- 現在会員 138名
- 出席者 85名
- 欠席者 41名
- 出席免除者欠席 12名
- 今回例会出席率 67.5%

例会修正出席率

11月 16日

- メークアップ 41名
- 欠席者 18名
- 修正出席率 86.6%

●メークアップ 杉本裕之・西澤雄三・酒井哲夫・清水則明・山内鴻之祐・椿原徹也(11/24 福井西)、岩崎新(12/3 地区 2017-18年度 第4回 社会奉仕委員会)、須賀原和広(12/4 福井東、12/6 大野、12/8 福井あじさい、12/9 地区 2017-18年度 第3回「ガバナー補佐会議」)、市橋信孝・早川信之・武本一美・渡辺崇嗣(12/6 福井北) 北島 恬(12/3 地区 第6回地区インターアクト委員会) 各 君

会長挨拶



会長 平野 洋一

最近大変寒く、奥越や武生の方では、道路が白くなったと聞きます。周りにも風邪を引いている人が多く見受けられます。風邪の厄介なところは、人に連鎖し感染することです。ロータリー会員にも名医がたくさんおられますので、早めに薬を飲んで直してください。

さて本日の卓話は、子どもの貧困です。児童養護施設 一陽 浜崎 裕太さんに卓話をさせていただきます。

福井ロータリーとしても3ヶ年計画を立てて子どもの貧困に向かいます。またメンバーだけでなく一般の方々にも子どもの貧困問題を広く知ってもらい、現状を理解してもらうのが目

です。裕福な家庭がある一方で、お金が無く子どもを育てられない方がいらっしゃいます。都会だけの話ではなく、ここ福井県に於いても13人に1人の子ども貧困だと言われています。福井県には児童養護施設が5箇所あります。預けられている子どもの6割が親の虐待。9割の子どもが貧困家庭です。来年5月12日に、福井ロータリークラブでは、一般の方々に向け、子どもの貧困フォーラムの開催や基金の創立も視野に入れ計画しています。

先日、福井市新田塚にある子ども食堂に行ってきました。20代と思われる親子がいて、子供だけご飯を食べて、お母さんは食事を食べていませんでした。子ども100円 親200円の食事代ですが、そのお母さんは、200円の食事代が払えないのです。そういう現実を目の当たりにしました。福井県内の困っている人を福井ロータリーで支援していきたい、現状を知ってほしいです。

栄誉行事

皆出席御祝

山内鴻之祐会員(22年)
木瀬 雅博会員(6年)



会員誕生日御祝

村井 勝会員、北 晋介会員、横山強志会員
林 正岳会員、玉木 洋会員、細江 究会員



配偶者誕生日御祝

今村善孝会員、太田洋介会員、朝倉真博会員
中島良成会員、田中秀也会員、初瀬川達郎会員
村中洋祐会員、英 貴子会員、平谷美智夫会員



結婚記念日御祝

伊井彌州雄会員、奥村隆司会員、森川圭造会員



委員会報告

規定・管理委員会 林 正岳委員長

先日、世界で規定審議会が採択され38案中、17案採択されました。

38案中 日本から19案意見が提出されました。今年から決議審議会が出来ました。毎年決議案を出すことになりました。当クラブの締切が12月19日になっております。決議審議会になにかありましたら1週間猶予がございます。事務局が幹事または林までお申し出くださいませ。

会員情報交歓会

12月5日(火)バスコ・ダ・ガマ(ポルトガル料理)にて情報交歓会が開催されました。

悪天候の中、17名が参加。大門世話役の発案で、今年あった「ちょっと良いこと」を皆で披露しあい、幸せな時間を過ごしました。



ゲスト卓話



社会福祉法人 越前自立支援協会
児童養護施設 一陽 労務企画室長 浜崎 裕太様

「児童養護施設の現状」～児童虐待・子どもの貧困～

今この社会で児童虐待が増え続けているか。理由として、まず、核家族化の進行やひとり親家庭が増加していることから、家庭の養育力が低下していることが挙げられる。

2つ目は、子どもの貧困問題の拡大による地域社会の変容が挙げられる。経済的貧困が直接・間接の原因となり、実の親と暮らせなくなった子どもたちの多くは、社会的養護の元に育つ。日本全体で、社会的養護の元に暮らす子どもは約4万6,000人に上り、そのうち半数以上の子どもが虐待を受けた経験を持っている。被虐待児童及び児童養護施設入所児の特徴として、脳の発達にも影響を与え、発達障がいにも類似した臨床像を呈する。また、虐待、いじめ、不登校等の経験から、自己肯定感が低い子が多い。自分はダメな人間だ、なにをしてもうまくいかない、やる前からどうせ無理だと諦めてしまう児童が多い。

児童養護施設の退所年齢は原則18歳。子ども達は、高校卒業と同時に施設を出て行かなければならない。そのため、子ども達は、高校卒業後又は退学後に、若干18歳にして児童養護施設を出て、一人で生計を立てる必要があることを、高校生のときに、児童養護の職員から説明を受けます。4年制大学に通う間の学費・生活費を賄うためには、大学進学後もアルバイトを行い、ローンの奨学金を借りた上で、更に、高校生の内に、100万円を優に超す金額を貯金しておくことが必要である。また、進学率は全国平均75%に対して20%、中退率は全国平均の3倍にあたる30%というデータも出ている。大学に進学しにくく、中退しやすいのが児童養護施設出身の若者達の現状である。経済的援助、そして帰る場所があるという2つの事実は、施設退所者の学生にはない。施設の多くの子ども達にとって、努力をすることは一歩の困難が伴うという現実があります。虐待を受けた経験から、努力すること・頑張ることを難しくさせる。人生で最も愛情を受けるべき時期に、その真逆の経験をしてしまった子ども達は、「頑張っていることがあるの?これまではいいことがなかったのに」という考えを持ってしまふ可能性が高いのである。

児童虐待防止施策を実行するためには、子ども育てる親御さんを育てる環境、支援をしてくれる人を支援する体制作り等、地域全体での支えがなければこの現状は変えられない。各々が素晴らしいことをしていても、連携なしには早い解決には結び付かない。連携することと合わせて、細やかな情報交換や他機関と一緒に動き支援していくことが必要だと言える。支援する相手にだけでなく、他機関に対しても、他に困りごとはないですか?と一言をかけることで繋がる意識が大事なのではないか。

「リスクの少ない道を歩ませて、社会で失敗させたくない!」とする大人の一方的な思い込みや力みの中にもまた「別のリスク」が潜んでいる。「夢があるんだっただ苦しくても学生生活をやりきれよ」と言いたくなる部分もあるかもしれないが、もし自分が同じ状況にあったとしたら、その言葉を前向きに受け取ることは難しいなど感じる。高校卒業後の進学一つとっても大変であるという進学格差が存在し、多種多様な自分の夢を描き、実現させていくことには多くのハードルがあるという希望格差まで存在している児童養護施設出身の若者たち。親を頼れない子どもたちと接していて、今の自分たち自身の心と姿勢を考えさせられている。

児童虐待防止施策を実効化するために

提案1) 「地域で育て、地域で暮らす」を「地域で支える」「育てる人を育てる」「支援者を支援する」

●●●2重、3重の(多層的な)

支援体制が必要!

～入所から退所の流れ～

